

子どもの生活リズム向上プロジェクト

18年度概算要求額 250百万円（新規）

最近の子どもたち

○深刻化する少年非行（刑法犯少年の検挙件数は134,852件（16年中））

○子どもの基本的生活習慣の乱れ

※午後10時以降に就寝する幼児（6歳以下）の割合が、10年前と比べ大幅に増加
 <平成2年：31%→平成12年：50%>（平成12年度 幼児健康度調査結果より）

※小学生のテレビ視聴時間は、10年前と比べ大幅に増加

<4時間以上のテレビ視聴時間 昭和59年：12%→平成6年：26%>（NHK調査結果より）

※朝食を食べない小中学生の割合が、5年前と比べ増加

<平成7年度：小学生13%、中学生19% →平成12年度：小学生16%、中学生20%>
 （平成12年度 児童生徒の食生活等実態調査結果より）

○毎日朝食をとる子どもほど、ペーパーテストの得点が高い傾向
 （平成15年度小・中学校教育課程実施状況調査結果より）

○お手伝いをする子どもほど、道徳観・正義感が身についている傾向
 （平成10年度子どもの体験活動等に関するアンケート調査結果より）

子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上

子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業の実施

【1】ポスター、パンフレットの作成・配布

子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させることを含め、家庭教育支援の機運を高めるため、関係機関・団体等と連携し、下記の普及啓発事業を実施。

【1】ポスター、パンフレットの作成・配布



子どもの生活リズム向上のためのモデル事業の実施

【実行委員会への委託】

学校、PTA、子ども会、自治会、町内会など、関係団体が連携し、地域ぐるみで子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムを向上させることを目指す運動を行うモデル事業を実施

【全国235カ所】

（取組例）

- 親子早期マラソン・ウォーク、早期ゴミ拾い、ラジオ体操など、子どもたちが早起きして、親や地域の大人たちと一緒に参加する「早起き！子ども地域活動」
- 夜間外出する子どもへの声かけ運動（夜回り）
- 「ノーテレビデー・ノーゲームデー」など、子どもの望ましい基本的生活習慣の育成に関する地域のスローガンづくりとその実践
- 早寝早起きや朝食をとることを奨励するシンポジウムの開催やポスターの作成
- 子どもの望ましい基本的生活習慣の育成のための各家庭のユニークなルール（しつけの極意）を募集する「わが家の家庭教育」コンクール



子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業の実施

【2】全国フォーラムの開催

【実行委員会への委託】

【2】全国フォーラムの開催
 本事業の成果を全国に普及するためのフォーラムを開催

【全国3カ所】



親が親としての役割を果たす

家庭の教育力の向上

親と子どもの豊かな育ち

